



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,111	1.8	1,577	11.0	1,477	14.6	967	24.4
24年3月期第3四半期	31,529	5.3	1,421	△49.5	1,289	△51.3	777	△53.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 960百万円 (32.2%) 24年3月期第3四半期 727百万円 (△55.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	32.97	—
24年3月期第3四半期	26.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	42,072	21,569	51.3
24年3月期	38,627	20,829	53.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 21,569百万円 24年3月期 20,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,800	0.6	1,650	△3.4	1,500	△5.4	1,000	76.4	34.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	29,525,000 株	24年3月期	29,525,000 株
25年3月期3Q	165,764 株	24年3月期	165,555 株
25年3月期3Q	29,359,424 株	24年3月期3Q	29,359,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果を背景に景気回復に向けた動きが見られましたが、欧州債務危機や中国経済の減速などによる世界的な経済成長の鈍化懸念など、依然として先行き不透明な状況にありました。

海運業界を取り巻く環境は、世界経済の低迷から船腹需給ギャップが拡大し海運市況が低水準で推移したため大変厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第3四半期連結累計期間の売上高は321億11百万円となり前年同期に比べて1.8%の増収となりました。営業利益は15億77百万円となり前年同期に比べて11.0%の増益、経常利益は14億77百万円となり14.6%の増益となりました。特別利益を6億3百万円、特別損失を5億8百万円計上した結果、四半期純利益は9億67百万円となり前年同期比24.4%の増益となりました。

事業のセグメント別業績概況は次の通りです。

「近海部門」

バルク輸送では年度契約の石炭・ドロマイト等に加え、スポットの石炭輸送等により前年同期に比べて輸送量は増加しました。

木材輸送については合板、木材チップ、南洋材とも概ね前年同期並みの輸送量となりました。

鋼材輸送ではタイ向け自動車用鋼板の輸送量が回復基調にあるものの鋼材全体としては前年同期に比べて減少しました。

部門全体としては近海船市況の低迷により、売上高は113億79百万円となり前年同期に比べて1.5%の減収となりました。また、営業損失は前年同期2億65百万円に対し、当第3四半期は7億40百万円となりました。

「内航部門」

不定期船輸送では石灰石、石炭の各専用船は概ね安定した輸送量を確保しましたが、小型貨物船では市況の低迷から稼働率が低下し前年同期に比べて輸送量が減少しました。

定期船輸送では苫小牧／常陸那珂航路、釧路／日立航路において前年同期を上回る輸送量となりましたが、前年下期より配船を効率化した北九州航路においては輸送量が減少しました。

八戸／苫小牧のフェリー輸送では昨年4月に就航した最新鋭船「シルバープリンセス」の輸送力増強とダイヤ改定の効果によりトラック、乗用車、旅客とも輸送量が増加しました。

同部門の売上高は206億74百万円となり前年同期に比べて3.8%の増収となりました。また、営業利益は22億97百万円となり39.2%の増益となりました。

「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸事業などがありますが、同部門の売上高は56百万円となり前年同期に比べ4.4%の減収となりました。また、営業利益は20百万円となり42.0%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ34億45百万円増加し420億72百万円となりました。流動資産は短期貸付金の増加などにより、2億29百万円増加し108億16百万円となりました。固定資産は新造船建造にともなう船舶の増加などにより32億15百万円増加し312億56百万円となりました。

負債は前期末に比べ27億4百万円増加し205億2百万円となりました。流動負債は未払法人税等の増加などにより、9億7百万円増加し103億36百万円となり、固定負債は船舶建造資金の借り入れなどにより17億96百万円増加し101億66百万円となりました。

純資産は利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ7億40百万円増加し215億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日の発表から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ144百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,001,274	752,247
受取手形及び営業未収入金	5,224,184	5,351,588
原材料及び貯蔵品	917,232	879,192
繰延税金資産	52,959	110,791
短期貸付金	2,191,000	2,509,000
未収選付法人税等	283,160	623
その他	926,691	1,218,509
貸倒引当金	△9,859	△5,808
流動資産合計	10,586,644	10,816,144
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	19,905,722	22,479,683
建物及び構築物(純額)	474,431	457,739
土地	1,051,895	1,051,895
建設仮勘定	5,193,719	5,930,407
その他(純額)	77,541	62,559
有形固定資産合計	26,703,309	29,982,284
無形固定資産	95,562	73,918
投資その他の資産		
投資有価証券	589,914	511,400
長期貸付金	157,055	142,606
繰延税金資産	54,084	65,604
敷金及び保証金	185,390	180,979
その他	278,452	320,326
貸倒引当金	△22,954	△20,664
投資その他の資産合計	1,241,942	1,200,253
固定資産合計	28,040,814	31,256,456
資産合計	38,627,458	42,072,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,189,184	3,588,844
短期借入金	4,124,101	4,707,344
未払法人税等	15,635	787,989
賞与引当金	175,053	102,842
役員賞与引当金	44,000	33,000
災害損失引当金	1,523	1,523
その他	1,879,416	1,115,307
流動負債合計	9,428,916	10,336,852
固定負債		
長期借入金	6,916,652	9,159,165
繰延税金負債	342,674	109,435
再評価に係る繰延税金負債	77,645	77,645
退職給付引当金	120,056	130,600
役員退職慰労引当金	431,346	362,580
特別修繕引当金	479,825	326,576
その他	1,316	—
固定負債合計	8,369,517	10,166,003
負債合計	17,798,433	20,502,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	17,784,278	18,532,001
自己株式	△27,464	△27,505
株主資本合計	21,374,313	22,121,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,507	44,066
繰延ヘッジ損益	△1,316	—
土地再評価差額金	△588,700	△588,700
為替換算調整勘定	△10,777	△7,780
その他の包括利益累計額合計	△545,288	△552,414
少数株主持分	—	165
純資産合計	20,829,025	21,569,745
負債純資産合計	38,627,458	42,072,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	31,529,858	32,111,038
売上原価	27,423,321	27,842,906
売上総利益	4,106,537	4,268,132
販売費及び一般管理費	2,685,372	2,691,102
営業利益	1,421,165	1,577,029
営業外収益		
受取利息	12,225	10,304
受取配当金	17,547	14,938
その他	13,250	19,177
営業外収益合計	43,023	44,421
営業外費用		
支払利息	108,828	126,571
為替差損	46,655	—
その他	19,213	17,718
営業外費用合計	174,697	144,290
経常利益	1,289,491	1,477,160
特別利益		
固定資産売却益	—	603,518
貸倒引当金戻入額	352,700	—
特別利益合計	352,700	603,518
特別損失		
減損損失	243,163	474,530
投資有価証券評価損	67,478	33,843
特別損失合計	310,641	508,373
税金等調整前四半期純利益	1,331,549	1,572,305
法人税、住民税及び事業税	311,646	873,578
法人税等調整額	241,937	△269,356
法人税等合計	553,584	604,221
少数株主損益調整前四半期純利益	777,965	968,083
少数株主利益	—	165
四半期純利益	777,965	967,918

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	777,965	968,083
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△63,717	△11,441
繰延ヘッジ損益	4,583	1,316
土地再評価差額金	11,444	—
為替換算調整勘定	△3,263	2,997
その他の包括利益合計	△50,952	△7,126
四半期包括利益	727,013	960,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	727,013	960,791
少数株主に係る四半期包括利益	—	165

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,555,275	19,915,617	58,965	31,529,858	—	31,529,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,555,275	19,915,617	58,965	31,529,858	—	31,529,858
セグメント利益又は損失(△)	△265,161	1,650,672	35,654	1,421,165	—	1,421,165

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,421,165
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,421,165

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門(注)	その他事業部門	計			
減損損失	—	243,163	—	243,163	—	—	243,163

(注) 売却資産に係るものであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,379,723	20,674,925	56,389	32,111,038	—	32,111,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,379,723	20,674,925	56,389	32,111,038	—	32,111,038
セグメント利益又は損失(△)	△740,735	2,297,096	20,668	1,577,029	—	1,577,029

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577,029
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,577,029

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「近海部門」のセグメント損失が43千円減少、「内航部門」のセグメント利益が144,305千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門(注)	その他事業部門	計			
減損損失	—	474,530	—	474,530	—	—	474,530

(注) 売却予定資産に係るものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。